



# なつかみの郷

祝祭日は国旗「日の丸」を揚げましょう

白地に赤く 日の丸そめて

ああ美しい 日本の旗は

(日本の唱歌より)

奈加美神社  
第7号  
平成22年春号  
6月1日発行

泉佐野市中庄834  
電話462-7080

## 奈加美神社で神前結婚式

桜の花が咲き誇る四月三日、爽やかな天候に恵まれ、神前結婚式が執り行われました。

新郎新婦は平成十八年に上瓦屋の青年団長を務められた池内孝彰さんと沙姫さんで、地車を通じて親しみのある氏神さまの神前で最良の日を迎えられました。

まずは社務所でお支度を済まされ、一同揃って本殿へ参進し、お祓い、斎主の祝詞奏上の後、祝いの神楽が奏でられ、三々九度の盃を交して契りを結び、誓詞を奏上して今後の誓いを立てられました。

秋祭り同様に凛々しく引き締まった新郎さんと桜の花のように可憐な新婦さんでしたが、厳肅な神事が納まり緊張も解け、幸せそうにはにかむお二人でした。



神前結婚式の風景

神前結婚式の歴史は百余年を数えます。昔の結婚式は家から家へ嫁ぐ形で、家の座敷の床の間に神名を記した掛け軸を掛けて行われておりましたが、大正天皇が皇太子の頃に挙げられた御婚儀にならない、当時の日比谷大神宮、現在の東京大神宮で行われたのが始まりです。

十数年前までは、結婚式と言えば神前式が主流でしたが、近年はチャペル式や人前式が増え、海外で挙げられる方も多ようです。しかしながら、ごく最近では明治神宮など有名大社での芸能人の挙式の様子が報道され、神前式も見直されつつあります。百周年記念事業で社務所新築工事も完成し、拝殿の塗替えも行いましたので、結婚式を行うための施設は十分に整っております。小さな頃から馴染み親しんだ鎮守の氏神さままで、古式ゆかしく雅やかな神前結婚式を挙げてみませんか？ 従来のご親族のみの挙式はもちろんのこと、多くの方々に祝福頂けるようご友人にご参列頂くことも可能です。

挙式初穂料は基本料金 五万円で申し受けておりますが、雅楽の生演奏などの追加プランもございませす。できる限りご希望にそった形での挙式を提案させていただきますので、どうぞお気軽にご相談下さい。

## 応神天皇壹千七百年式年祭

奈加美神社の主祭神は菅田別命(ほむたわけのみこと)と申し上げ、第十五代応神天皇、一般的に八幡さまと呼ばれる神様です。

西暦三一〇年に崩御(お亡くなりになられる事)されてより、本年満一七〇〇年を迎えるにあたり、四月二十九日の祈年祭並びに昭和祭において、一七〇〇年式年祭の祝詞を奏上申し上げました。

御陵は羽曳野市の恵我藻伏崗陵（えがのもふしの  
おかのみささぎ）で、古墳の全長は仁徳天皇陵に次  
ぐ大型の前方後円墳で、体積は日本最大です。古墳  
の大きさからも広大無辺な御神徳が伺われます。

## 献灯（提灯）募集のご案内

奈加美神社では秋祭り及び歳末（小正月）に掛け  
て道路沿いに氏子各位からご奉賛頂いており、提  
灯を掲げており、お祭りの雰囲気を感じ上げてお  
ります。

古来より火・灯りは大切に扱われてまいりました。  
今ではマッチやライターですぐに着火できますし、  
コンセントを差せばすぐに灯りがともります。昔は  
そんな便利なものはございませんので、各家庭で火  
種を絶やすことのないように心掛けられておりま  
した。



また神社やお寺では釣り灯籠や石灯籠が寄進さ  
れ、灯りを神前に奉  
納する習慣も生ま  
れました。神事にお  
いても祈願申を焚  
き上げるお火焚き  
神事や、太陽の力が  
弱くなるとされた  
冬の火祭りなど  
全国各地で行われ  
ております。当社で  
も六月二十日の御  
田植祭には虫送り  
の風習でかがり火  
を焚きますが、暗が  
りに揺らぐ炎は何  
とも神秘的です。

この度の百周年記念事業の一環で、提灯の献灯台  
を増設致しましたので、約三十灯分の空きスペース  
がございます。年二回掲揚し、三年間の献灯料が  
一万五千円となります。皆様の祈願を込めて頂く献  
灯であると同時に、日常の神社の維持運営に際して  
の貴重な財源でもあります。この度の事業でご社頭  
の面目も一新致しましたが、境内を見渡せばまだま  
だ整備・修繕を必要とする箇所がございます。どう  
ぞ氏子皆様方には趣旨をご理解頂きまして、一灯で  
も多くご奉賛賜りますようお願いを申し上げます。

三年間献灯初穂料 一万五千円

お問合せは奈加美神社まで  
電話 四六二一七〇八〇

## 鎮守の杜の植物 ― 藤 ―

今年は大宮稲荷神社拝所の左側に植え付けた白  
野田藤が見事に咲きました。

当社の神紋が藤の巴  
であることから、これ  
に因んで地植えと鉢植  
えの両方で栽培してお  
ります。いづれも若木  
でまだまだ花付きは良  
くありませんが、十年  
後二十年後には立派な  
花を咲かせているかも  
知れません。気の長い  
話ですが、温かく見守  
って下さい。



業の締めくくりとして  
本殿横の神苑整備が整  
いました。限られた予  
算内のことですので雑  
木林を整理して、従来  
植わっていた椿を移植  
し、旧社務所まわりに  
あった灯籠・井戸枠・  
沓脱石を据えつけ、計  
知神さんの参道境界に  
竹垣を組んだ程度です。

今後の展望として神  
社の名物になればと、

藤棚を設置して花房の長い九尺藤を植樹しました。  
これもまだまだ若木ですが、成長して木が充実し、  
環境が良ければ二メートル程度の花をつけるとい  
う品種です。今後の成長に期待したいものです。  
またこれから、花菖蒲（五月～六月）蓮（六月～  
七月）・サギ草（七月～八月）の季節を迎えます。  
昨年は百周年の関係で忙しく、菖蒲の植え替えを  
しませんでしたのであまり期待できませんが、蓮は  
品種も増え十八種各一鉢づつ拝殿前に並べますの  
で、是非お立ち寄り下さい。



## ご祈祷のご案内

お宮参り・安産祈願・七五三  
厄除け・車のお祓い  
地鎮祭・住宅入居のお祓い  
神道家霊祭等、各種お祓い  
受付致しております  
お電話にてご予約お申込み  
下さい